

分割された空気の部屋が 荷重を全体的に支える

エアホークは、バイクの長距離走行によって発生するお尻の痛みを軽減することを目的としたシートクッション。元々は車イスのユーザーに向けて開発された医療用技術を、バイクに転用している。

クッションは、分割された空気の部屋(=エアセル)が、お尻の荷重を全体的に支える構造。ゲルを使用したクッションと比べて、より荷重が分散され、熱がこもりにくいのが利点となっている。

愛車への装着時は、空気が少なすぎると感じるくらいがちょうどよい状態。装着前にミラー位置を確認し、装着後も同じように見える状態が適切とされている。

製品には6種類の汎用サイズが用意され、幅広い機種に対応できる。中にはタンデムシート用もある。さらに一部のタイプでは、クッションを耐久性と振動に強い従来のネオプレン製からポリウレタン素材に変更することで、価格低減を図った「エアホーク2」も選べる。

長旅によるお尻の痛みを 空気力で軽減



No. 2

Brand

japex

Product

エアホーク

価格：9180～2万1060円

カラー：ブラック

問：ジャベックス TEL03-3773-7633
<http://shop.japex.net/researchlab/>



愛車への装着は、シートを取外して、製品を付属のストラップで固定するだけ。その後に空気圧の調整は必要だが、とても簡単だ



カバーの中にエアクッションを内蔵して使う。エアセル(空気の部屋)の数は、サイズや仕様によって異なっている



空気圧の調整はバルブを開閉して行う。注入時は息を吹き込むだけでOKなので、特殊工具やエアポンプは必要なし!



カバーのサイドにはメッシュ素材を採用。通気性を高めることで、収納したエアセル間の風通しをさらに向上させている